京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

寄書

韓國經營と人口問題（一）

於仁川　山下南海

殖民經營を論ずる者須からく異數の研鑽に待ちて確實の資論を主唱せざるべからず、然るに世上殖民の何物たるを解せず亦た列國殖民政策の推移變遷が如何なる事實を吾人に提撕しつゝあるかをすら究めず、聞くに堪へざる辭説を敢てしつゝあるは政黨界然り言論界亦た然らざるなきが如し、臺灣の施措に就ては如何謙韓の經營に就ては如何識者をして論者の意見が斯程迄に淺薄なるかを疑はしむるなきに非ず、而かも就中韓國殖民を論ずる者に到て其多數を見るは余の竊に長大息する所なりとす、則ち彼の殖民史の何物たるを解せざるの致す所は政治的施設に於て漸進同化主義を採用すべき乎將た亦た急進同化の政策を採用すべき乎の根本要義をすら不問に附し、徒らに眼前の事實を捕捉して皮相の斷案を下さんとするが如き彼等論者の無鐵砲なる誰か之に驚かざるものあらんや、殖民統治の根本要義に就ては識者兩既に定論の存する在り、他の原因なきに非ざるも彼の佛國殖民の治蹟遲々として揚らず常に被保護國民の怨嗟を招きつゝある所以のものは急進的同化政策の採用によりて殖民地の社會制度を破壞せんとするの結果に外ならず、之に反して英國の殖民統治が累年光輝ある治蹟を貽しつゝある所以は、英國民先天の治材に俟つ大なるものありと雖も、其主たる原因は殖民地の風俗人情及び社會組織の奈何に考稽し、徐ろに母國の制度文物を移殖せんとする所謂漸進同化の政策を以て統治上の要義となすに在ればなり、説をなす者あり曰く佛英兩國統治上の治蹟が如斯彼此軒輊ある所以のものは、兩國民先天の特性に因するものにして主義政策の異同を以て論ずべきに非ずと謂ふと雖も余は到底斯かる所説に首肯する能はず、疑すや羅甸人種は殖民の先驅者として多くの舊國的歴史を貽せしに非ずや、彼の班葡兩國民が萬里の異域に奈何なる活動を敢てせし乎、論者の言の如く某運民族のみを以て殖民者のオーソリテーとなすは穿たざるの甚だしきものなり、謂ふ迄もなく當時の歐州はマーカンチリズムの思潮界に沈淪し就中班葡兩國の如きは實に斯主義の實行を以て立國の根本要義となせしに在り、而して彼等國民は殖民地を目して一に唯だ珍寶獲得の場所なりとなし其施設經營の如きは殆んど之を眼中に置かざりき、殖民の後進者たる英佛と雖も當初の觀念は亦た班葡兩國と其轍を同ふし敢て大なる注意を殖民地に拂はざりしは史能く之を説明せり、晩近帝國主義の一度び唱導さるゝや、歐州列國は海外領土の經營を以て國民勢力の發展に在りとなし、就中獨逸の如きは殖民經營を解釋する上に於て母國超過の人口を排泄し富の分配を公平ならしむべき合理合法の政策なりとするに到れり、蓋し殖民地の經營は經濟上の目的を達する上に於てのみ重大視せらるゝに非ず、其保護國或は屬國が隣境に强國若くば强國の殖民地を有するならんには、軍事上の目的に依りて亦た萬般の施設經營をなさゞるべからず、韓國の如きは斯點に於て最も重大の關係を有する邦國なるが故に層一層の注意を以て經營の目的を貫徹すべきは識者を俟て後ち知るべきの疑問に非ざるべし

雜報

露國東洋艦隊

露領黑龍江艦隊は一九〇七年より其の建造に着手し昨年末までに竣工せし砲艦數隻に達し其の他同艦隊用小蒸汽船數艘の新造を完成せし由なるが其の主要部は波羅的造船所に於いて之れを製造し鐵道に依つてストレテンスクに輸送し同地シルカ河岸の造船所に於いて之れを組み立つるものにて目下此れ等の砲艦は同地ユクイヲ根據となし昨年夏期には流れに遡りて既にハバロフスクに達したるものあり該艦隊は黑龍江の上流部即ちポクロフカよりハバロフスクに至る河岸防備の任に當るものにして裝甲艦は野戰砲に對すべき小砲を有し其の他は有事の秋に際して別勤隊となり汽船保護の任務を遂行すべく且つ敵の渡河上陸を防ぎ陸上の獨立砲兵及び小部隊の敵を攻撃し河岸偵察の勤務をなすものなりと因みに露國は本年より更らにハバロフスク附近をして艦隊根據地を建設し大規模の砲艦を建造する計畫しつゝありと

●日本米穀消費趨勢

米穀は本邦人の主食物にして年々六十萬人内外の割合を以て增加しつゝある本邦民に對し正比例を以て其の需要を來せり過日我が農商務省に於て調査せる米穀消費の趨勢を見るに明治二十年に於ける消費額は三千六百八十萬石にして對一人消費額は九斗四升三合なりしも同三十年には消費額三千九百餘萬石一人に對して九斗五升二合に增加し亦四十一年には五千百八十九萬餘石一人消費額は一石四升五合に增進せるが是れ等大体の趨勢を察するに一箇年間の米穀消費額は約四千八百萬石内外にして之れに對する最近の平年作は約四千六百萬石なるを以て現時の人口に對する本邦米供給不足額は約二百万石内外と見て大差なかるべし故に本邦に於ては年々二百万石以上の外米輸入をなさゞるべからず之れ等より察する時は韓國米は從來より以上の本邦輸出を見るに至るは勿論なりと云ふべし

●金融界活氣を帶ふ

一昨年以來の不景氣のため資金固定し市場頓みに振はず閑散に越年し又昨年の如きは一昨年の餘波を受けたると一方一昨年の農作不况なりしために不振なりし市場は一層寂寞を呈したために市場は殆んど成す術を知らず到底人爲を以て恢復する能はざる狀態に陷りたれば諸物價は河水の落つるが如く放落し金融市場に大影響を與へ果ては利子引下げを斷行するの已むなきに至り京城を中心として釜山、仁川、平壌、元山等重なる處は各提携して利子引下げ行い急場を救濟せんとなしたるも一端不况に陷りたる市場は急に恢復すべくもあらず不景氣裡に四十二年を越歳したり然るに昨秋に於ける農作豐穣なりしと節季に入りて大豆の歐米輸出されたる等に因りて一月に入りては日未だ淺きも大豆の相場少しく上昂したれば開城、長端の大豆産地より韓人は何れも實進みの体となり遠くは黄海道方面の大豆も當市場に現はるゝの盛況を呈するに到れり又一方米穀は昨年度は實に於ても佳良なりしを以て斯業家は進んで買占むる有様なれば市場漸く潤澤を示して活氣を帶ぶに至りたれば各銀行共に相當の貸出しありて漸く愁眉を開くに至りさしも緩慢の聲高かりし金融市場は順潮に向ひつゝあるものゝ如し此の分に打續かば今年は一昨年以來の不景氣を挽回するに難からざるべし

日本銘刀傳

第十九席　邑井一　講演

正宗は貞宗を同道して京都へ上りまして夫れより歸路で　正「貞宗や」貞「へ父上何御用でございます」正「外でもないがもう俺も何時此方へ來られるか分らぬから、兼ねて信仰して居る多士明神へ參詣しやうと思ふが、何うだ」貞「夫れは結構でございます。此の多士明神と云ふのは勢州から美濃の大垣へ出る道筋でございます、同國のかめ屋と云ふ旅店へ這入る　男「入らつしやい、れ早い御着き樣でございます、毎度御贔負に相成りまして難有うございます」正「二人だから何分宜しく……何うか靜かな座敷があるなら通して貰いたい」亭主「承知致しました、裏の離座敷へ御案内申せ、唯今れ湯を……ソレれ草鞋と甲掛けを片付けて上げな……れきみや…れ茶を上げな……ソレ〳〵煙草盆へ[illegible]が這入るは……」亭主なか〳〵口がやかましい、兩人は座敷へ通りまして正「此れをれ茶料に……」女「ハイ〳〵有難う……」亭「唯今は有難う……れ風呂が諾うございます」正「今晩は御厄介で……れ酒を何うぞ、れ肴を二種許り」亭「ハイ〳〵畏まりました」二人は風呂へ這入まして夕飯の膳に向ひ、酒も仕舞、飯の箸を取り上げると、隣でチン〳〵〳〵と刀を鍛つ槌音が聞へる、商買だけに正宗貞宗思はず顔を見合して　貞「父上、此邊には珍らしい槌音でございますな」正「去ればサ……ア、好い調子だ……」と二人共箸を取り上げ、隣の淵を正宗は向槌の調子取れば貞宗が本槌になり、トン〳〵〳〵と叩き初めた給仕の女は呆氣に取られる　……其内にチーンと上槌の音、貞宗正宗同じ樣に　二人「ホイ仕まつた」女「れ仕舞なられ膳を下げませうか」正「イヤさうじやアない……御亭主を鳥渡呼んで下さい」女「ハイ」亭「何か御用でございますか」正「態々れ呼立て申して濟ぬが、此のれ隣に刀鍛治でもありますか」亭「へイ〳〵イヤモれ隣の親方は、大膽な名人で……先づ日本に幾人と申す人で……併し彼の人の鍛治た小刀や、庖丁は、切れ過ぎて困りますので……然し刀は嘸宜うございませう」正「さうだらう……何んと云ふ人だね」亭「喜左衛門さんと云ひます」と、聞て二人はハツと思を吐き、扨てこそ喜左衛門村正が彼様な處へ流れて來たか、心ならぬは云ひながら、斯かる街に住みて、一生名前を揚ぐることが出來ずに仕舞つたか、まだ我が折れぬと見ゆる、困つたものだ」と、流石自分が子飼から手塩にかけて育て上げし、村正の零落を聞くに付け、見るに付け、[illegible]を思ふ胸のうち、貞宗も又た兄弟子が、斯くの如き有様に、打沈んで居るかと思へば言葉なし　正「御亭主、隣の親分はれ上手だが、癖があつて往かぬ、若し逢つたらは言つて遣つて下さい……」御亭主、刀は人の魂となるものだから六かしい唯槌音を聞いて居れば、チンカンと聞へるが、中々大變な者だ、地金を延して力を鍛治時に、最初三十六鍛つのが地の三十六を表し、二度目に二十八鍛つのが、天の二十八宿だ、夫れから十二陰陽、二十五香の槌と云ふのだ、十二陰陽とは、先づ六つは陽にして、春夏とし、跡の陰は、秋冬と見倣すのだ十三鍛つ時のあるのは閏月のやうな者だ、一番仕舞に上槌と云ふのが、鬱師な處だ、六かしく言へば畫龍點睛だ亭が人物を畫いて、眼を入れるやうなもので、其の人の了簡を寫すと云ふ面倒な處だ、六かしく言へば畫龍點睛だ」亭「へー大層六かしうございます、もう一度言つて下さい」正「能く覺へて下さい最初三十六鍛つのが地の三十六を表し二度目に二十八鍛つのは天の二十八宿を象り、十二陰陽十五香の槌と云ふのだ、上槌が惡るいのでケスバリ疵が出て役に立たぬ、必らず折れる、差す人に迷惑を掛けると言つて下さい」宿屋の亭主は一々紙へ書付けてある

滿洲劇の開幕(四)

韓半島に及ぼす影響

京城新報

ハリマンが全滿鐵道經營案を立てたのは事實である、併し彼が之を爲すに到る迄には只り露人から相談を受けたのみならず他の國人からも相談を受けたのである、彼は突然病歿した、けれども彼の立案は殘つた、而も其殘つたハリマン案に米國政府が中立鐵道なる政治的外交的の提案と化して列國に提議するに至つたのは一體何から來て又何を意味するのであらうか。

抑も米國今回の提議を世人が突然なりと云ふは間違つて居る、何となれば此提議が公然我に向つて爲されたるは昨年末の事であらうが我霞ケ關如何にボンヤリなりと雖ども斯る重大なる提議の來るのを疾くから知つて居らぬ筈はないのである、否な慥に知つて居つた筈の理由も十分にあるのである、余輩は政府當局者に非ず、また外交官にも非ず、而かも今回の提議の起らんとするを知つたのは昨年の春である、余輩は常に注意を怠らなかつた、而して愈々提議の來るべきを慥かに知つたのは昨年の秋だ、當時余輩は餘計な事とは思つたが施政上の參考にもならんかと提議の概畧を我統監府に知せた曾禰統監や石塚長官事務取扱は必ず今に記憶して居られるだらうと思ふ、

常に外交などに餘り關係なき余輩にさへ今度の滿鐵問題が昨年中から知れて居つたとすれば我外務當局者に知れて居らなかつた筈は決して無い、而るに我霞ケ關が今日に於て世人と一シヨになつて全く突然の提議などゝツラトボケて騷いで居るのは決して外交の本義を盡して居るものとは云へない。

世人の記憶する如くロンドンタイムスは其外交部長チロルを昨年四月特に東洋に派遣し親しく滿洲問題を研究せしめたり、チロルは北京に遊び滿洲を踏査し東京に出て〻故伊藤公、桂首相、小村外相、後藤遞相等と數回の會談を遂げたり、而して此會談の主題が滿洲の門戶開放機會均等及び滿鐵問題にありしことは特に言ふを要せざるところである、チロルは我現代表的諸政治家と意見の交換を遂げたる後韓半島を視察し二た度滿洲を經て北京に遊びたり、其後彼はシベリヤ線に因つて歸英の途に就くべき豫定を變更し北京を去つて上海に出で歸英の爲には迂回なる太平洋の航路を採りて米國に赴きたり、チロルが米國に於て何人と何を語りたるやは今に於て說くの要なし只余輩は英國否な英國民を代表するロンドンタイムスが何の爲に態々チロルを送つて滿洲を研究せしめたかを世人が考へんことを望むのである。

東京電報

▲曾禰統監の參內　曾禰統監は來る十七日宮中へ參內　聖上陛下へ烟草啟函　皇后陛下へ平壤栗等を獻上せらるゝ筈(十四日)

▲在韓官吏の更迭　曾禰統監は政府と交渉の結果近日統監府吏員及び韓國政府傭聘の日本人官吏の大更迭を行ふと(同上)

▲關東都督の辭任　關東都督大島大將は上京以來外交權一手掌握問題を提げて外務省に迫りつゝありしが終に纏合はず昨十三日辭表を提出せり(同上)

▲對米方針一變せん　日本は從來米國に對し成べく緩和手段を採り移民問題の如き米布合併問題の如き當時約諾したる既得權をさへ主張せず米國の希望を滿足せしめたるも今回滿洲鐵道中立問題を提唱したるは實に米國の異意を解する能はずとて今後に於ける對米策を確立する爲め對米同志會の組織を見るべし(同)

▲米國大使の取消　東京各新聞は米國大使オブライエン氏の滿洲鐵道中立問題に關する談話を掲載したるに同大使は本國政府の注意に依りて前言を取消せり(同上)

▲銀行利子引下　日本銀行利下を始めとし各銀行の預金利下を發表するや各地方銀行も之に倣ひ續々利子引下を決行しつゝあり

▲捕鯨總會の開催　全國捕鯨業者より成る大日本水產組合は目下引續き大坂に於て同總會を開催し漁業權の保護に關し當局者に請願せんと協議中なり(同上)

雜報

▲工科大學の工事　目下創立委員の手に調査中なる福岡工科大學創立に就き實地調査中なれば近々該工事に着手し四十四年九月の新學期より開始することゝなるべし(同上)

▲瀆職議員の服役　日糖會社より賄賂を受けたる瀆職議員の上告審確定し服役せり(同上)

▲橫井時雄の出獄　日糖瀆職代議士橫井時雄は本日出獄せり(同上)

國境稅關の稅率

今般淸國政府は渾春及間島に稅關を開始し輸出入の貨物に對し課稅するに就ては如何なる稅率を課すべきやは疑問にして又一問題なるが元來淸國の稅率は北淸事變後に於て各國の代議員が上海に集合し稅率を引上げ從前從價稅二三分なりしを約五分に爲したるものにて之れを事變の抵償と爲したるものなるが日本にては勅令を以て六箇月每に其價格を定むることになり居れり然るに淸國に於ては前記代議員會議の時に於て決定したるものは其の後何等の變更を爲すこと能はず若し夫れ今次の開關に於ける稅率を知らんとすれば必ずや此範圍を脫し得ざることゝなれば其筋にては之れが情況に付目下間島へ照會中なりと云ふ、尙淸津港の貿易は一箇年約三百万圓にして國境貿易は百萬圓位なりと

民團所有の財產

京城民團に於ける所有財產の現在如左

	坪數	時價
土地	二四、〇九六・五一五	三三八、六六八、七七〇
建物	一、二三六・〇七〇	八八、三六一、二〇〇

建物は民團役所、學校舍宅、第一第二小學校及高女學校、南小學校、漢城病院、幼稚園、靑坡病院其他公園墓地等の小建物なり其他基本財產として左の現金あり

皇太子殿下御下賜金	二、一〇三、〇〇〇
幼稚園基金	四〇〇、〇〇〇
小學校基金	一、二〇〇、〇〇〇
高等女學校基金	二〇〇、〇〇〇
大神宮基金	五〇、〇〇〇

尙ほ其以外に於て權利財產に屬する永久無償使用認可及借用地二万三千五百四十坪四合四勺五才あるが更に其財產より生ずる收入を見るに左の如し

不動產收入	七、六六四、〇〇〇
動產收入	一二三七、〇〇〇

而して民團財政の永久的鞏固を計らんには確實なる基本財產の設定最も急務なりとて古城民長は此點に大に注意し居れり

金融市場の好況

近來金融市場の景況は非常に良好にて殊に地方に於ては大豆、棉花及米の豐作のため農民の財政非常に餘裕を生じたる爲め租稅徵收成績の如き近頃までに三百萬圓を計上するに至りし由にて曾て實例無きことなりと道は內地の金融緩慢も影響し居れることなるが昨冬は大阪の金利が七八厘方騰貴し居りたるものも本春に至りては著しく下降し日本銀行の如き手形割引に對して一錢四厘乃至一錢五厘を唱へて其の低利なることは實に珍らしきことには貸付利子は一錢二厘にして十年以來の現象なるが綴て當地韓銀發行高の如きは一千三百餘萬圓を呼ぶに至りし所以のものは米穀の景氣良好なる爲め之れが買出しに資金の需要を喚起するに至りし爲なりと云ふ

米豆の市場相場

最近司稅局の調査に係る仁川外七市場の米及大豆卸賣價額は左の如し(但し左表は中位を標準とし忠南の江景は報告なかりしを以て十二月闕を摘錄す)

市場名	籾	玄米	大豆
仁川	三、七〇〇	七、三〇〇	五、一五〇
江景	二、八〇〇	七、〇〇〇	四、五〇〇
群山	三、三〇〇	七、五〇〇	四、九〇〇
木浦	三、〇〇〇	七、四〇〇	…
馬山浦	三、八〇〇	七、六〇〇	…
密陽	三、四〇〇	六、五〇〇	四、二〇〇
海州	三、三〇〇	五、七〇〇	三、九〇〇
鎭南浦	三、〇〇〇	七、〇〇〇	五、〇〇〇
龍岩浦	四、二五〇	八、六〇〇	五、九〇〇
平均	三、三七〇	七、一七〇	四、六〇〇

●營林廠製材と需用

從來韓國に於て需用せる木材の多くは日本より輸入し來りしものにて羅南龍山等に於ける兵營工事を始め諸官衙等の建築工事に要する木材は重もに此方面に於ける需用に充てられたるものなりしが近來兵營工事並に京釜京義沿線の建築材料は統監府營林廠の鴨綠江岸材を使用せる爲め著しき減少を示すに至れり今左表に就て之れを見るに四七月の兩月に於ては多少の增加ありしと雖も其他は每月減少を示して一月以降の累計にては常に著大の減少を見るなり昨年一月より十一月迄に度支部建築所が買收せし營林廠製材の總高は實に四万六千尺〆約五十萬に上りたりと

木材及板の輸入兩年度比較

	二年	一年	△は減
一月	五九、四〇一	七〇、五五六	一一、一五五△
二月	四四、七九〇	一〇八、二二一	六三、四三一△
三月	一〇六、七〇八	一三〇、〇七八	二三、三七〇△
四月	一三七、八三七	一一八、二九九	一九、五三八
五月	一三九、八〇八	二五四、一五七	一一四、三四九△
六月	一〇六、二〇三	一九〇、七四三	八四、五四〇△
七月	一一五、八二四	八九、二四四	二六、五八〇
八月	一三六、八一八	一六三、五四七	二六、七二九△
九月	一二〇、〇五一	一五五、五〇七	三五、四五六△
十月	四五、二二〇	三二〇、九七〇	二七五、七五〇△
十一月	三三〇、〇五二	三三六、三四五	六、二九三△
十二月	六四、〇九一	五九、四七〇	四、六二一
合計	一、二八六、八二三	一、八九七、一七六	

●各道の社還米狀況

韓國各道に於ける社還米は春時農民に貸與し秋期の收穫と共に十分の一を加へて返納せしめ備荒貯蓄の目的に供し居たるが右は偶々惰民を作るの虞あるのみならず多少の紛雜を免れざるを以て今回內部にて各道の書記官の意見を徵したる結果左の如し

京畿	六四、一四六圓六〇錢	現金として備荒貯蓄の目的に供す
忠北	七、八八一石	現金に替へ種籾改良資金備荒貯蓄
忠南	六、五五四石	現金に替救恤慈善の基本財產とす
全北	一三、六五〇石	金融組合に依托し利殖融通を圖る
慶北	八、四〇〇石	現金に替へ罹災救恤基金に宛つ
慶南	六八、二七三石	救恤事業等に用ふ
黃海	二、四五〇石	穀物又は代金還納救濟基金に宛つ

右の外咸鏡二三道は既に社還米制度を廢し若くは不明の者あり內部にては度支部と協議の結果年々地方費より多少支出をなし備荒貯蓄の目的に具ふべしと

●國有漁基實地調査

韓國々有漁基は元帝室財產の一部として宮內府に於て管理せしが國有財產整理の結果度支部の所管に移り更に漁政統一上農商工部の手に收めたるが該漁基は頗る廣凡に亘り其箇所數百の多きに達し居るのみならず孰れも有利のもの〻みなり故に之が取扱に就ては特別の制度を設け其許可又は免許に關する手數料は千圓以內とし普通漁場との區別を立てたるが管理移轉の際現に權利を獲得し居るものは其儘本年三月末日迄繼續を許るし四月以後に於て新たに出願せしめ許可の指令を與ふる都合なりと而して現在漁基の箇所及面積は度支部引繼に對し多少相違の事實あるを認むるを以て近々實地調査を試むる筈

●北滿洲の大豆騰貴

北滿にては松花江を境とし其南北に激烈なる大豆合戰行はれつゝあり昨年秋黑龍省の某富商哈爾賓に於て大豆買占めを計りしに在哈問屋は連合して之れに當り買占の目的を遂げしめざりしが江省の問屋は之れを含み其後呼蘭靑山等の各要地に手を廻はして江花の大豆は一粒たりとも哈爾賓に入らしめざるべき策戰見事圖に當りし爲めに哈爾賓の出穀頗る減少して近年稀有の暴騰價格を出現せしめしものなりと云ふが本年に於ける滿洲大豆の昂騰に就ては之等も慥かに其の一因たるべしと云ふ

●北滿大豆浦鹽輸送

從來北滿洲大豆の大連より輸出するもの年々百餘萬石の多きにありしも今年に至りて大に減少するの傾向となりたるが右は東淸鐵道沿線より浦鹽に至る貨金を割引せる規定以上に割引且つ貨車の優先權を得ん爲めの術策より昨年迄長春を經て大連に集りしもの今は大部分浦鹽斯德に輸出さるに至り昨今は長春の貨物も東淸鐵道に收集することゝなりたるに起因せるものなりと

●日韓海底電線不通

長崎釜山間海底電線は去る十一日朝より不通となり日韓通信上大なる影響を與へ居れるが其故障は對馬附近にて電線の切斷せるものゝ如く遞信省は應急修理のため直ちに技師を派遣し敷設船小笠原丸を急航せしめたりと云ふ

●地方廳の邦人主事

韓政府にては地方行政を改善する爲めに本年度に於て邦人郡主事百名、邦人道主事二十五名を日本より傭聘する由にて右は日本に於ける在官者中より採用する筈にて今回岡內部次官東上して內務省と其人選の打合をなすと云ふ

●水產局の出品種目

福岡名古屋兩共進會に對する韓國出品物に就て農商工部商工局に於て蒐集中なるが其內水產局の出品種目は鹽鮭、明太魚、靑魚、大口魚、干鰮、石魚、海羅、石花菜、海藻、煮乾鰮、乾鯨、乾鰒、乾蝦、和布等なりと云ふ

●朝鮮日々發行停止

過日來猛烈に東拓會社を攻擊しつゝありし朝鮮日日新聞は十三日三浦理事官より發行停止を命ぜられたり吾人は同業者として同社の不幸に同情すると同時に一日も解停の速かならん事を望む

●釜山四會社配當率

在釜山港の水產、棧橋、電燈、釜山汽船の四會社に於ける今期利益の配當率は水產(一割四分)棧橋(八步)電燈(一割五分)釜山汽船(七分)なりしと云ふ

●北韓慘害其後實況

北韓方面に於ける十一月二十九日の暴風雨被害は其後農商工部より水產組合に命じて調査中なりしが其程度存外少許にして特に救濟を要せざりし由なり

●京城記者團の會合

當地記者團は十六日夜評議員會を開くことに決定し居たる所十三日朝鮮問題同志會委員の入京したるを機とし十四日午後三時より事務所に於て會合せり

●留學生監督の渡日

久しく空席なりし韓國日本留學生監督に新任せられたる李晩奎氏は昨十四日午前南大門發列車にて渡日の途に就けり

●北韓事情の講話會

淸津署長原警視は事務打合せの爲め入京したるが十四日警務局員一同を會し北韓事情に關する一場の講話をなせり

●靑年館宣敎師大會

昨十四日鍾路靑年會館に於て在京宣敎師三十餘名を始め各道より入京せる宣敎師七十餘名都合百餘名大會を催たり

●朴泳孝の馬山滯留

濟州島に配所の月を眺めつゝある朴泳孝氏は數日前同島を出發馬山に向ひたるが當分馬山に滯留靜養する筈なりと

●倉富政府委員東上

今期議會の政府委員に任命せられたる倉富司法次官は來る十七日午前九時南大門驛發列車にて東上する筈なり

●岡內部次官出發期

岡內部次官は來る十七日午前九時南大門驛出發東上することに決定したり

●金融事項參考書

今般度支部にて發行したる第二項韓國金融事項參考書は九百六十頁より成れる大冊にして財政、通信、貿易、通貨、金融、金利、銀行の營業成蹟、爲替及共同倉庫、手形組合等のことを詳細に記述したるものにて印刷明瞭頗る有益の參考書なり

●仁川輸出商組合

仁川輸出商組合は去る三十五年創立以來輸出穀物一石に付十錢宛の積立金をなし年末計算と共に拂戾す事となし居たるも時勢の推移と共に其必要を認めざる事となりたるを以て全廢する事となり昨十四日鮮樓に總會を開きて之れを決議したりと

●穀物協會の總會

仁川穀物協會にては昨十四日午後三時より同地鮮樓に於て定時總會を開き四十二年度決算報告及び役員の撰擧を行ひたりと云ふ

●仁川理事官夜會

仁川理事官信夫淳平氏は十五日午後九時より在留の重なる官民を理事廳に招待し夜會を催す

●寺田檢事赴任期

京城控訴院檢事より平壤地方裁判所檢事正に轉任したる檢事寺田恒太郎氏は來る十六日午前九時十分南大門驛出發赴任する筈なり

龍山通信(十四日支局發)

▲戶口の劇增　龍山居留地の急速なる發展は所謂識者の豫にも嘗ふべき程なるが今昨年來現在の戶口を聞くに戶數二千五百六十二人口一萬三十五に達し蔚然として大都會を成せり而して居留民の所屬縣別を擧ぐれば山口縣の九百五十五を最多數とし福岡縣の七百九十一長崎縣の五百四十七廣島縣五百三十等を長たるものとす

▲道路急修繕　龍山市街道路泥濘深く步行頗る困難なる爲め當民團より元町通を其所轄せる內部に東町及京町と線路管理局に至急修繕方を申入れ將來の街路は我國に於て之れが修繕を爲すべく一兩日中着手する筈

▲稅未納處分　當民團區域內に居留し若くは地所家屋等を所有して納稅の義務を有せざる者にして納稅を怠るもの甚だ多き爲め民團長は昨年末より之等の處分を爲し居れるが京城の在住松田某は龍山新華里に五十五萬餘坪の所有地あり年來納稅を爲り葛藤を生じ居しが遂に民長は右地所の內十一萬坪を差押へて之を公賣に附することゝせり

▲民團と畑某　龍山桃山なる遊廓地が如何にして指定されたるやは知る人ぞ知る處にして今更耶新らしく吹聽するの要はなし然るに其遊廓地の指定されたる當時地主なる京城旭町居留畑某は民團に遊廓地の一部を寄附せんとせしも民團にては之れを採納する能はずとて更に之れを代金に見積り金七千圓を寄附し數度に納金することゝせしが畑某は其約を履行せず現に四千七百餘圓滯り居れるが爲め來る十七日開會の民會に於て之れが處分方法を議せんとするは既報の如くなるが茲に注意すべきは右畑某の遊廓地差配人たる國井泉は現に名を民會議員に列し居ることなり云ふ迄も無く議員の公職に居ては私心を去て公事を議すべき筈なるも万一不心得の行爲を爲すに於ては決して容赦すべきにあらずとて事相を知る者は單に國井のみならず該問題に對する全議員の言動を監視すべしと云へり

公人私人

▲加藤見治(京城高等法院)十三日入京

▲永島巖(平壤控訴院長)同上天眞樓へ

▲谷口小次郎(元鐵道廳技師)同日入京

▲河村靜水(京城地方裁判所判事)同上

在韓外國宣敎師(下)

(某當局者の談)

吾輩は茲に內外人の誤解を釋くべき一例を語らんとす、先頃北韓の一村落に於て其の住民悉く基督敎信者なるの故を以て傳道本部の命令あるに非ざれば納稅の義務なしと主張し十字旗を翻して暴行を官吏に加へたることあり因て其の所謂傳道本部の主腦者たる宣敎師の注意を促したるに意外にも此等の韓人は眞の基督信者に非ずして宣敎師とは何等の關係なきに拘らず肆まゝに十字旗を濫用したるに過ぎず暴行者を處罰せられたるは斯かる潛稱信者を懲戒する良法にして其の最も滿足する所なる旨該宣敎師は言明せり、此の種の事實は他にも多かるべし、無謀なる韓人の言を信じて宣敎師を疑ふの輕卒なると同時に宣敎師に於ても亦正實らしくして狡猾なる自稱韓人信徒の放言に惑ふて統監政治の眞相を誤解せざる樣注意するの必要あるべし

終りに臨み吾輩の最も愉快に感ずるは獨り宣敎師のみならず從來日本の施設を歡迎せざりし在留外國實業家も漸く統監政治に對抗するの不利なるを看破し其の態度を一變して寧ろ好意を以て改革事業を聲援せんとするに至りし事是なり如何に日本の爲に計らんとする人々とても世間より屢々其の敵なりと呼ばるゝ時は氣心水情遂に異誠の排日家たるに至ることなきを保せず至誠一貫以て人を待たば誰れか我が友ならざらんや(完)

拳骨 (六)

桃睡

「那麼事に花咲ひだがね」と見久十君は微笑みながら、「僕ア今斯う思つたね、酒と云ふ彼は實に醉の解らぬ力を持つて居る者だぜ——」

「君が酒を解釋するのか」

「君こそ解らんが酒が其の人に與へる狀態は僕等の方が可く解つてるさ」

「狀態なんか怎うでも可い、僕は味ぞ解する丈で得心する」

「然し丸で可いもんさ」

「何が」

「何がつて君盃が重なるに隨つて一列々々に人間が擬つて來るから丸で可いぢやないか、先づ近い例が過日の宴會さ、始めは鹿爪らしう鬚を捻つたり襟を整らしたり至極自重して居る樣に見ゆるが、少し酒が廻り始めると全るで別話しにならん、三十分前迄は椀の蓋を除るにさへ人の氣息を伺ふた奴が其の蓋を投げるやら肌を脫ぐやら全然狂人だね、流石は其道だけに藝者なる者がてゝらの呼吸は可く合點した者だ、人皆眞面目な最初の程は借りて來た猫の樣にチヨコナンとして居るがナア大分酒が廻つて來たと見ると實に[illegible]ふるよ、平常なれば[illegible]しくなるには呆す[illegible]近づく事も出來ぬ可い年をした男を捉まへて叩く突き飛す「ヘ、ン濟まんな」などと君鼻で遇らつてゐるんだ、昔口博士の如きは頻りに鼻を摘まれて喜んで居た奴さ、僕は博士に對しては充分な敬意を表して居つたのだが其態度を見せられちや何だか馬鹿にされた樣な氣がしてね」

「下戶の了見は其位の者さ」

「然し飲んだ時の狀態は君解るまいが」

「だから駄目だと云ふんだ、解る間はまだ醉つてるんぢやないぞ」

「成程ね、飲む人の了見は其位の者だらう、僕ア斯う思つたね、若し假に釋迦か大の大酒食ひであつたら怎うだらうさ」

「成程」香海君妙に感心した。

「キリストでも構はんさ」

「面白い、マリヤの頭位は撲つたかも知れん」と誰し相に云ふ。

「高山さん止しなさい、對手になすつたつて駄目ですよ」

「ア然うでしたね話が飛んだ枝道に入りましたが其の今朝の騷動と云ふのは抑も、[illegible]」の懸聲から始まつたんです、平氣な顏で六疊の室に這入つて來た栄山君は(や怎うか爲たか)と床の夫人を見て其れでも一寸小首を傾つて訊たと思ひなさい、た六夫人は脊を向けたまゝ返事もしません、(頭が痛む相だ)と僕が替つて答ねると(香露が酒を飲むと妻の頭が直に痛み出すんだ妙な頭ぢやないか、整理で僕は此れ迄二日醉と云ふ事を爲た事がない、忠實な者だ、吾輩の頭痛は君乾度栗が引受けてゐるんだよ)と大胡坐を搔いて煙うなんです(何とれ仰有いました)夫人は顏色を替へて向き直つたね、此れから活劇さ、僕こそ可い面の皮だつたよ。」

銀貨偽造犯人就縛

▲永同に於て偽造

京義線永同に於て韓人數名共謀し銀貨を偽造せる犯人釜山署に逮捕せられたり今其詳細を記せんに▲昨臘十八日頃忠淸北道黃澗郡秋風嶺にて日韓銀貨の五十錢廿錢十錢五錢等の偽造貨を使用するものあるより永同警察署にては密々探偵したる結果遂に慶尙北道金山郡黃南面大道岩里居住田釜秦(三)同郡同村居住金昌培(五六)二名を偽造銀貨行使者として拘引し其後取調べ中なりしが彼等二名は終に包みきれず昨年陰暦十月三日頃慶尙南道金海邑林鶴峯方にて京城南部長通坊帽谷六十統六戶趙召史方黃凡秀(三七)と共謀して偽造したることを逐一自白に及びたれば前記黃凡秀も直に拘引されて取調中又も彼等は其連累者を自白したれば十日釜山警察署有馬、山上、吳の三刑事永同警署の多田上田兩巡査の五名は連累者たる絕影島居住金性旭(三〇)金太玄(三)兩名の家宅搜索をなしたる上兩名を同道察署に拘引せり

▲證據品の發見 前記絕影島金性旭金太玄の兩名方にて家宅搜索の際木製鑄形一粘土塊二電器二電池二粉末粘土一升鋼線二十尺ヤスリ三重曹五ポンド銀ロウ百匁位タンパンポンド眞鍮ロウ石三を發見したれば證據品として押收したるが前記釜山絕影島居住の金性旭及び金太玄は釜山警察署に於て申立たる所は唯二十錢十錢五錢の銀貨を試驗的偽造したるのみにて未だ行使するまで偽造せざりしと陳述し居れり

行金二萬圓費消

▲支店長の腰巾着 ▲銀行警察も秘密

仁川百三十銀行用度係に戶尾房太郎(二七)と呼ぶ高襟の若者ありき同人は元來同行支店長兵須久の腰巾着にして隨て同行中にては巾も利く處から中々に威張り散すより行員に憎まれ者となり居たりしが彼は昨年以來彌生一富士又は敷島の一山支店等にて金錢を湯水の如く散じたる高は決して少額に非ずして行員共は密に其の金使ひに不審を抱きつゝありしが過日突然同人が何れへか姿を隱したるより漸く疑惑を起し內々にて帳簿等を取調べしに行金約二萬圓許を費消逃亡せし事分明し茲に初めて大騷動となり目下其の行衛を秘密に搜索中との事なるが何でも陸路京義線方面へ逃走の形跡ありと同件は銀行を始め警察にても充分秘密に附し居れりとなり詳細は尙精探の上報導せん

●笑太郎の念懲 本町六丁目幾代亭と呼ぶ旗亭に些度垢拔けのせし娘あり脊はすらりと面長に人好きのする顏形ちれ職は辯護士の太郎某と呼ぶ人の御意に叶ひ去る人を介して是非にの懇望に對手に差ほど不足なければ話はするくと進み行き偕形の如く輿入れも濟みて新夫婦は至極仲睦まじく居たりしが滿つれば缺ける[illegible]の通り此の太郎君今迄獨り寢の淋しさまゝ折々聘んでは[illegible]の盛を拂はせ居られし一人の女あり町券番でも枕にかけては二さ下らぬ笑太郎と呼ぶあは憐れ藝者なるが何か取替はせし約束事でもありし者か前記の始末を聞く/\と聞き込み!笑太郎娟眉を逆立て今に見よと許り或夜密かに太郎君を訊ね往きしが生憎差し向ひの折柄とて忽ち逆上し紐が切れ貴下はな貴下はなと胸倉取つてヤイノ/\と決めければ太郎君は元より花嫁御も吃驚仰天し飛んだ亂痴氣騷ぎを演じたるが怎うやら怎うやら其の晚は納まり今尙未決にて紛紜中との事にて今一と騷ぎありはせずやと近所の評判

●兩賊魁の合併 有名なる暴徒の首魁姜基東及び延起羽の兩人は此程より合併して一の聯合軍を組織し京畿道抱川郡地方を跋扈し盛んに掠奪を行ひ橫暴至らざるなきに戰々恟々たる有樣なるが去九日には抱川郡外面初東橋里附近に出沒するの情報あり總數六十餘名にして隨所に亂暴狼藉を働くよし右につき抱川分遣所よりは直ちに搜索隊を差遣し彼等を追跡せりと

●元山街道の杜絕 精銳なる武器を所持して學生帽を被り喇叭を吹奏しつゝ進退しつゝある賊魁延基羽は賊魁姜基東と聯合して六十余名の大團体となり去る九日より抱川郡地方に出沒する由にて其爲め元山街道は危險にして交通杜絕の有樣なりと云ふ

●鴨綠江と馬賊 鴨綠江は既に完全に結氷したるが相變らず馬賊出沒して危險言ふ可らず去年は結氷期中馬賊の來襲三十回に及びたるが本年も義州新義州間にて郵便遞送人一名馬賊に襲はれ辛うじて逃げ終はせたりと

●盜賊一束 新年早々龍山署管內を荒して栗林刑事の手に捕へられた盜人を引出して見れば目にかけんに仁川花開洞居申壽明(三二)は去三日龍山鍛冶町花岡利三郎方にて衣類雜品を竊取し六日逮捕され▲京畿道長湍郡古浪浦居尹明花は客年十二月二十二日榮町山口鶴松方外三箇所にて木炭を竊取し本月十二日逮捕され▲元町一丁目人力車帳場龍山組の挽子任昌基(二〇)は一昨十二日六十圓餘を帳場より盜出し友人を連れて京城太平町飲食店渡邊しま方にて散財し居たるを逮捕せられたり

●ケチな土百姓 仁川仲町二丁目居住の煙草商金書房は一昨日午前十二時頃仁川署に出頭して同町人力車帳場白石鵝鵬と云ふが烟草代三十錢を今に支拂はず嚴しく催促すれば腕力に訴ふるにより說諭方願出でしかば本人を呼出して戒めたりと

●鼻柱をブン撲る 南部南門外住の金明化(五〇)及西部賜銀洞住の曹聖倍(三〇)と呼ぶ二人の人力車夫は十三日午後何洞人力車駐車場にて車の置き場より喧嘩を始め折柄酒氣を帶びたる金は强かに曹が鼻柱を擲ちし爲め出血し右の冒廻行所へ出たるが微少なる事とて金より十五錢の治療代を支出して事濟み

●淨土宗の講演 本日午後七時より明治町淨土宗開教院に於て同宗青年會講演開會の筈なり辯士は水谷豚影師の現世主義、最美光世君の人生の三寶の二つにして同會は今後每月二回第一第三の土曜日を期して開會する由なり

●豚一頭の拾得 南部小龍洞九十八統住の朴聖賢(四二)と呼ぶ人力車夫は十三日午後四時頃長谷川町一丁目を空ら車挽きながら通行中所有者なき一頭の豚を拾得し其の筋南署へ申出づ

●新年謠會開催 去る十六日(日曜日)午後一時より南山和樂園に於て同會開催の筈なるが其の重なる者は高砂●●田村、●●東北、●●二人靜、●●野守等にして番外には翁、●●綾上、●●嵐山等なりと

●一昨日の新町 十三日新町遊廓の水揚は七十四人の遊客に對して四百三十三圓六十七錢の揚高なりしと

●演藝 ●壽座は一昨日來木戶錢無料とし棧敷出孫を除くの外二十錢と三十錢の追込みとなし、同大車輪を以て演ずる由尙は今十五日の藝題「めぐる小車」七幕なりと云ふ

狂亂菊牡丹

本日休載

各地の新聞

▲巡査に十錢借せ 九日午後六時半頃東京神田元柳原町燒芋屋前田大次郎(四)と云ふ男が泥醉の千鳥足にて東神田分署に來り呂律も回らぬ口調で受附の警官に駄々を捏ね警官を困らせた揚句は十錢貸せと迫りて止まざりしが同署にては醉の醒めるを待つて懇々說諭の上放還したり

▲三津濱ノ老婆殺 愛媛縣三津ヶ濱町字堀川豐島とよ(七三)といへる老婆ム十日の朝何者のためにか無殘にも絞殺せられたるが實子熊吉夫婦嫌疑者として同地警察署の手に取押られ目下取調中

▲古河家と稻瀨川 稻瀨川有村二力士間に紛擾のありし師匠入間川襲名の件は常陸山が預かりて融和したるが去る四日秋元子爵邸に土俵開きの角觝ありて稻瀨川も招かれたり其時觀覽席にありし古河虎之助氏が稻瀨川の體軀を見て年若なるもまだ發へず此力士を角觝の教師として體力を養成したしと秋元子に語られたるより同子は常陸山をして稻瀨川の諾否を問ひたるに同力士も老後を見捨てられずして扶持せらるゝを喜び時々古河邸に行き運動角觝を催すことになりしより早晚古河邸內に移轉する由

▲しじみ川の埋立 近松門左衛門の「天網島」に依て有名なる大阪堂島の蜆川は昨夏の大火の結果市區改正の衝に當り今回工事費十四萬五千圓を以て埋立つることに決定したり

▲一家殘らず殺傷 兵庫縣飾磨郡飾磨村醬油屋德松(三二)は九日朝印南郡平荘村宿屋明石屋にて同家の妻た綱下女山本れ仙外家族殘らずを殺傷して逃走せり

▲醜市吏員の公判 大阪市吏員伊藤晃及び田村、安藤、中村にかゝる業務橫領詐欺事件は十一日一件書類を豫審より廻送當地方裁判所刑事第三部成田裁判長豫出檢事の係にて不日開廷の筈因に各被告の保釋金は伊藤が三百圓、中村が百五十圓、安藤が八十圓にて田村は保釋願を差出さず尙は拘束中なりと

▲物好な珍訴訟 愛媛縣喜多郡柳澤村大字藤繩中野鬼五郎は木村(釆杷辯護士を代理とし大阪北區古川町四五高橋源七を相手取り大阪區裁判所へ一圓三十一錢五厘七毛の支拂請求並に訴訟金額に對する差押へ費用二圓八錢三厘一毛合計三圓三十九錢八厘八毛の請求訴訟を提起したるが厘毛附の請求なれば若し原告の勝訴となつたる場合被告は如何にしてこれを支拂ふべきか一件落着のうへにて双方又もこの點に抗爭すべく意地づくとはいへ物好きな訴訟といふべし、

▲伊豫の實子殺し 愛媛縣喜多郡大成村久保藤太郎(二六)は十日午後二時頃其妻某を殺害し實子をも傷け己もまた自殺を遂げたるが原因は病情のためなりと

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判

一月十五日月齡十二日の四、五黃先負庚辰平△一白 不利不遜の日新事及婚姻共同組合等妙其他平凡△二黑 發見凶猶旅行轉住面白からず△三碧 遠船紛起り易し取引相談効果面白からず紛失防ぐべし△四綠 不得要領の日なり新事見合の事金品授受面還生じ易し△五黃 非運の日なり謹愼を要す殊に投機的射倖的行爲を戒しむ△六白 快欣の日なり大抵の事吉家庭內に小驚若くは保累の事あらん△七赤 仕官就職相談開店染吉帳簿證券印章の事注意を要す△八白 當然務むべきを等閑に付するあり遲鈍の行動を禁ず△九紫 家庭又は近親のため出損若くは保累あり其他良好

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小僕入用 希望者は本廳あり出し 三井物產京城支店

●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店

●迷犬 去年春生の白に茶褐色の斑點ある牡犬一匹迷來れり心當りの方は太平町古川床へ

物件部

●貸家 北部齋洞廿九の四貸家あり宮内府其他諸官衙には便利の地希望に應じ賄並上候

●電話讓渡又は賣付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●電話付き貸間あり 南山町二ノ一〇一 龍井

●老舗讓渡 本町一丁目目拔の場所多年賣込し雑貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

龍山老松町
寢室構造家具用達 土工請負業
磯口商店
電話一一九番

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

龍山新市街山下町
內科 小兒科 眼科
原醫院
入院隨意

京城壽町三丁目(電話三七八番)
入院隨意
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

京城本町一丁目憲兵分遣所前
眼科專門
江頭眼科醫院
(電話三三三)
前京城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

待春日
[illegible]

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、痔僂、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉
電話千四百十一番

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大嶋専藏
(電話一百十三番)

胃腸消化新劑

澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白胲消化劑 グスチンヂ

錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十粒入一瓶)三十錢
散劑十オンス入(一瓶)二圓四十錢

右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を締約、官制、官規、宮等等級、俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度季願上候敬具

明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

●唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り
近藤商店
電話八百三十五番

京城南大門驛前
京城支店
電話一七九番
電話七〇八番

仁川驛前
仁川出張所
電話五一一番

草梁驛前
釜山出張所
釜山驛前 電話五一六番
草梁驛前 電話六三七番

龍山驛構內
龍山出張所
電話二〇六番

内國通運株式會社

貨物運送取扱
税關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸く落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

神戶資生分院
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意
京城梅毒病院
京城相生町(南門湯横)
(電話一二九四)
院長 醫學得業士 廣田耕平

荒物世帶道具一切
大阪合製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業

京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇電話(ニカ又はニ)
振替貯金口座東京(九四一七番)

時節柄數物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切に御手輕を專一と心懸け候

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戶
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

營業擴張廣告

土地家屋並商品擔保に
右は du [illegible]

質金業

京城竹園町二丁目
樋下田本店
(電話九三二番)

京城相生町(南大門通魚市場裏)
樋下田支店
(電話一四三九番)

龍山清水町六十三番戶
樋下田支店
(電話四〇四番)

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、罐詰、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、物食料雜、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽荒物、種特約販賣商御望に依り商品切手調進仕候

蒸溜 牛乳 消毒
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一三三

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張所
電話二百〇五番

正札付大安賣履手[illegible]

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
(電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行韓國支店
京城本町二丁目十五番戶
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、東京、京都、山、八木、高田、岸和田、御影、住吉、茨木、下市、伏見、田原本、兵庫、奈良、堺、神戶、平野、貝塚
東海道 名古屋、半田、熱田、東京、横濱、大磯、甲府、四日市、山田、桑名、松阪、濱松
東山道 岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、高崎、長濱、八幡、大津、彦根、大垣、松、青森、秋田、能代、土崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、富山、伏木、新潟、金沢
山陰道 大宮、舞鶴、津、西舞鶴、新湊、今江、高岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 姫路、龍野、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、玉島、岡山、西大寺、笠岡、高梁
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、撫養、德島、香川、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
臺灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

仁川海岸通
電話三九番
郡回漕店
貨物及船客取扱店

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告
電話十番

●釜山、長崎、門司、神戶行
山東丸 一月十五日後三時出
●大連行
高砂丸 一月十八日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行
山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行
酒田丸 二月三日正午時出
●釜山出帆 元山、浦潮、浦塩行
立神丸 一月廿六日午後
[illegible]